

令和3年第2回定例会

富良野市議会会議録

令和3年6月23日（水曜日）午前10時07分開会

◎議事日程（第3号）

- 日程第 1 議案第 1号 令和3年度富良野市一般会計補正予算(第4号)
日程第 2 議案第 2号 令和3年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)
日程第 3 議案第 3号 令和3年度富良野市水道事業会計補正予算(第1号)
日程第 4 議案第 4号 富良野市個人情報保護条例等の一部改正について
日程第 5 議案第 5号 富良野市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
日程第 6 議案第 6号 富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
日程第 7 議案第 7号 富良野市税条例の一部改正について
日程第 8 議案第 8号 富良野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
日程第 9 議案第 9号 富良野市公共下水道事業の設置に関する条例の一部改正について
日程第 10 議案第 10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
日程第 11 議案第 13号 令和3年度富良野市一般会計補正予算(第5号)
日程第 12 議案第 14号 株式会社富良野振興公社の株主総会における議決権の行使について
追加日程第 1 動議 議会改革特別委員会の設置について
日程第 13 意見案第 1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
日程第 14 意見案第 2号 地方財政の充実・強化を求める意見書
日程第 15 意見案第 3号 2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
日程第 16 閉会中の所管事務調査について

◎出席議員（18名）

議長	18番	黒岩岳雄君	副議長	13番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	渋谷正文君
	3番	大西三奈子君		4番	松下寿美枝君
	5番	大栗民江君		6番	関野常勝君
	7番	石上孝雄君		8番	水間健太君
	9番	小林裕幸君		10番	家入茂君
	11番	本間敏行君		12番	佐藤秀靖君
	14番	宇治則幸君		15番	日里雅至君
	16番	天日公子君		17番	後藤英知夫君

◎欠席議員（0名）

◎説明員

市長	北 猛 俊 君	副市長	石 井 隆 君
総務部長	稲 葉 武 則 君	スマートシティ戦略室長	西 野 成 紀 君
市民生活部長	山 下 俊 明 君	保健福祉部長	柿 本 敦 史 君
経済部長 兼ぶどう果樹研究所長	川 上 勝 義 君	建設水道部長	小 野 豊 君
看護専門学校長	澤 田 貴 美 子 君	総務課長	上 田 博 幸 君
財政課長	藤 野 秀 光 君	企画振興課長	関 澤 博 行 君
教育委員会教育長	近 内 栄 一 君	教育委員会教育部長	亀 淵 雅 彦 君

◎事務局出席職員

事務局長	井 口 聡 君	書記	大 津 諭 君
書記	向 山 孝 行 君	書記	鷺 見 悠 太 君

午前10時07分 開議
(出席議員数18名)

表彰状の伝達及び祝辞

○議長(黒岩岳雄君) 開議に先立ち、先般、全国市議会議長会より表彰されました方々に対する表彰状の伝達を行います。

受賞者を事務局長より御紹介申し上げます。

事務局長井口聡君。

○事務局長(井口聡君) さきの全国市議会議長会第97回定期総会におきまして、会長より、市議会議員として15年、市政の発展に尽くされた功績に対し、天日公子議員が表彰されました。

また、市議会議員として10年、市政の発展に尽くされた功績に対し、関野常勝議員、石上孝雄議員、本間敏行議員、黒岩岳雄議員が表彰されました。

ここで、議長より表彰状の伝達を行います。

5名を代表いたしまして、天日公子議員、御登壇ください。

(16番 天日公子議員、登壇)

○議長(黒岩岳雄君) -登壇-

表彰状。

富良野市、天日公子殿。

あなたは、市議会議員として15年、市政の振興に努められ、その功績は著しいものがありますので、第97回定期総会に当たり、本会表彰規程によって表彰をいたします。

令和3年5月26日。

全国市議会議長会会長清水富雄。

代読。

おめでとうございます。(拍手)

それでは、この機会に、市長より御祝辞をいただきます。

市長北猛俊君。

○市長(北猛俊君) -登壇-

おはようございます。

全国市議会議長会特別表彰に当たりまして、一言、お祝いを申し上げさせていただきます。

このたび、全国市議会議長会から栄えある15年表彰並びに10年表彰を受けられました議員の方々に、心からお祝いを申し上げます。

長年にわたり、地方自治の振興、発展に貢献されたその御功績に対して、市民の皆様とともに深甚なる敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

天日議員におかれましては、平成18年に当選され、5期15年の長きにわたり、市民に寄り添い、生活、福祉を第一に取り組み、関野議員、石上議員、本間議員、黒

岩議員におかれましては、市民の信頼を一身に集められ、平成23年の当選より3期10年にわたって、市政の円滑な運営と健全な発展のために御努力を賜りました。

また、富良野市議会議長、副議長並びに常任委員会、特別委員会の委員長、副委員長などの要職を歴任され、卓越した議会人としての手腕、さらには人柄をもって、議会の活性化はもとより、市民生活向上のため、安らぎと活力に満ちた富良野市の実現を目指してこられました。その幅広い御活躍は、市民の皆様が広く認めるところであり、その輝かしい御功績に対し、重ねて厚く感謝を申し上げる次第であります。

さて、現在の地方自治を取り巻く環境は、少子高齢・人口減少が進み、市民の価値観も多様化しており、また、コロナ禍で全てが縮小、停滞しておりますが、地域の活力を維持し、向上させ、次世代に元気な魅力あるふるさと富良野を引き継いでいかなければなりません。

このような社会環境にあつて、さらなる発展を遂げるためには、新しい時代に向けて、市民ニーズに対応した質の高い社会資本の整備や市民福祉の充実、地域環境の保全など、住みよい地域づくりのための諸施策を新しい知見を持って総合的に展開することが求められております。

どうか、表彰を受けられた議員の皆様におかれましては、豊かな議会経験と広範な識見をもって市民ニーズを把握され、市民生活の向上、本市の発展に向けて一層の御指導と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて、富良野市議会議員皆様の御活躍を心より御期待申し上げます。

結びに、このたび表彰されました皆様の御健勝と御多幸を心から御祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

まことにおめでとうございました。

○議長(黒岩岳雄君) ありがとうございます。

以上で、表彰状の伝達を終わります。

開 議 宣 告

○議長(黒岩岳雄君) これより、本日の会議を開きます。

新型コロナウイルス感染防止のため、会議中のマスクの着用を許可いたします。

会議録署名議員の指名

○議長(黒岩岳雄君) 本日の会議録署名議員には、

大 西 三奈子 君

宇 治 則 幸 君

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

○議長（黒岩岳雄君） 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長井口聡君。

○事務局長（井口聡君） -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

今定例会の追加議案につきましては、市長より提出の事件、議案第13号、議案第14号の2件につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議会側提出の事件、意見案3件、所管事務調査の申し出3件につきましては、本日御配付の議会側提出件名表ナンバー2に記載のとおりでございます。

以上でございます。

議会運営委員長報告

○議長（黒岩岳雄君） 本定例会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長石上孝雄君。

○議会運営委員長（石上孝雄君） -登壇-

議会運営委員会より、6月18日に議会運営委員会を開催し、追加議案の取り扱いについて審議をいたしましたので、その結果について報告申し上げます。

提出されました追加議案は、市長側提出案件が2件で、内訳は、予算1件、その他1件でございます。

議会側提出案件は6件で、その内訳は、意見案3件、閉会中の事務調査3件でございます。

いずれも、本日の日程の中で審議を願うことにしております。

以上、申し上げまして、議会運営委員会からの報告といたします。

○議長（黒岩岳雄君） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり、本定例会を運営したいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

日程第1

議案第1号 令和3年度富良野市一般会計補正 予算（第4号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第1、議案第1号、令和3年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書、14ページ、15ページをお開きください。

2款総務費、3款民生費、4款衛生費、14ページより19ページまでを行います。

質疑ございませんか。

10番家入茂君。

○10番（家入茂君） 14ページ、15ページ、2款1項7目自治振興費の280番、関係人口創出事業費についてお伺いいたします。

こちらの事業費につきましては、環境省による国立公園等の自然や文化を活用したワーケーション推進事業ということを知っております。実際に、具体的にこちらのワーケーション推進事業の内容、国立公園等の場所、ファムトリップによるアクティビティーの内容についてお知らせください。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） 家入議員の御質問にお答えします。

14ページ、15ページ、2款1項7目の280番、関係人口創出事業費のファムトリップとワーケーション魅力発信情報サイト制作委託料の内容と場所等についての御質問だと思います。

いま、議員から言われましたように、今回、この事業につきましては、令和2年度の補正予算における環境省の国立公園、温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業を活用して行うものでございまして、一般財団法人環境イノベーション情報機構を通じた間接補助ということになっています。

補助額につきましては、定額で上限250万円となりますが、今回計上しました247万5,000円全額が環境省からの補助ということになっております。

内容につきましては、まず、ファムトリップ自体の御説明になりますけれども、いわゆるインフルエンサーや旅行代理店などの方たちを招聘して、その方たちのブログや、メディア、その他コンテンツにおいて情報を発信してもらうというプロモーションの手法の一つとなっております。

ファムトリップにつきましては、大雪山国立公園でございます富良野岳の原始ヶ原をフィールドとしまして、その他、富良野市内の演劇工場や自然塾、収穫体験を含めてファムトリップの対象となる方たちを招聘しながら体験していただき、逐次、情報を発信していただき、なおかつ、旅行商品の造成等の助言をいただきたいというふうを考えております。予定では、大体5名程度を考えておまして、10月までには行いたい。あわせて、3泊4日程度で招聘を行いたいというふうを考えております。また、場所でありますけれども、先ほど申しました

ように、基本的には国立公園でございますので、富良野の原始ヶ原登山を中心に行いまして、演劇工場のコミュニケーションワークショップや自然塾の体験という部分をあわせて進めたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。
17番後藤英知夫君。

○17番（後藤英知夫君） 16ページ、17ページ、2款1項20目の300番、体育施設管理費ですが、このスポーツセンターバスケットゴール改修工事費は、北九州で事故が起きたことによりまして緊急点検した結果、劣化が見つかって、今回の予算計上というふうに聞いています。

聞くとところによりますと、1台は設置してから30年、もう1台は44年ほど経過しているということでありまして、今回、緊急点検で見つかったということですが、これについて、いままでのような点検の仕方をしていて、今回見つかったのか、その点検の経過についてお知らせください。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。
市民生活部長山下俊明君。

○市民生活部長（山下俊明君） ただいまの後藤議員の御質問にお答えいたします。

16ページ、17ページ、2款総務費1項総務管理費20目体育振興費の300番、体育施設管理費のスポーツセンターバスケットゴール改修工事費391万6,000円に係る御質問かと思えます。

まず、概要から説明させていただきますが、今回改修のバスケットゴールにつきましては、A面、B面、C面、D面とありますが、C面及びD面の二つの交換工事としております。

いま、議員からお話がありまして、C面のゴールにつきましては1991年の設置、D面につきましては1977年設置のものであり、毎年、定期点検を実施のうえ使用してまいりましたが、今回、北九州の事故を受けて緊急点検ということもございましたが、毎年3月に定期点検を行っております。今年3月の定期点検におきましても劣化を指摘されておりました。そのことから、修繕方法について協議をしてまいりましたが、当然、メーカーの推奨使用期間を経過していることもございまして、部品交換ができないという状況もございましたので、このような理由により、利用者の安全性を考えまして、今回、一括調達により交換を行うこととしたものでございます。

なお、残りのA面とB面のバスケットゴールにつきましては、平成30年度に交換工事を実施しているところで

ございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。
1番宮田均君。

○1番（宮田均君） 先ほど質問がありました14ページ、15ページ、2款総務費1項7目自治振興費の280番、関係人口創出事業費の内容です。

ファミトリップとワーケーション魅力発信情報サイト制作委託料とございますが、この内容でいきますと、両方とも同じところに委託するというのでしょうか、お聞きします。

それから、先ほどと重複するかもしれませんが、委託先へワーケーションはどのような内容を委託するのか、その2点についてお伺いいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。
総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） 宮田議員の御質問にお答えします。

14ページ、15ページ、2款1項7目の280番、関係人口創出事業費のファミトリップとワーケーション魅力発信情報サイト制作委託料の関係でございます。

宮田議員がおっしゃるように、ファミトリップ、いわゆる招聘する部分と、あわせて、情報サイト制作委託という部分の二本立てで一つの事業になっております。今回は、ファミトリップを行いながら、動画を撮り、富良野市独自で流していく情報サイトの制作の部分もございまして、この二つを一つのところに委託したいというふうに考えております。

また、どのような形で委託するのかということもございまして、まず、前段のファミトリップの部分につきましては、先ほど申しましたように、私どもで富良野の事業概要を説明し、こういうところを呼んでいただきたいということと、あわせて、来ていただく方たちに関係する費用、また、予備費用も含めて積算させていただいております。

情報サイト制作委託に関しましては、富良野独自でワーケーションに特化したホームページを制作するという部分でございますので、それに対する費用について積算させていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
1番宮田均君。

○1番（宮田均君） ファミトリップを行うときに、動画なんか撮りながら、ワーケーションの魅力を発信し、宣伝するのに使いたいということで、委託先が同一ということをお聞きしました。

ワーケーションのことでお聞きしますが、ワーケーションの魅力発信の情報サイトという形になりますと、観光発信とダブった部分というのが随分あるのではないかなと思うのですけれども、ワーケーションとの区別というのはどういう形で考えておられるのか、お聞きしたいと思います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） 宮田議員の再質問にお答えします。

観光のホームページとのダブリといたしますか、その解消についてかと思いますが、観光は観光で全体的な部分が流れていると思いますし、今回、私どもとしては、ワーケーションに係る富良野の魅力という部分に特化させていただきたいと思います。そういう面では、幾分ダブるところもあるかと思いますが、観光の部分につきましては、いまは観光協会のほうで作成させていただいており、今回の情報サイトにつきましては、例えばフラノ・ジョブ・スタイルやリビング・フラノと同じような形で富良野市のホームページ等から流れていくような形を考えております。

情報が重複する部分については、見る人たちも異なってくると思いますので、それは仕方がないと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、次に移ります。

6款農林業費、7款商工費、8款土木費、9款教育費、18ページより23ページまでを行います。

質疑ございませんか。

11番本間敏行君。

○11番（本間敏行君） 22ページ、23ページ、9款教育費2項小学校費2目教育振興費の100番、教材整備事業費についてです。

これは、聞きに行ったところ、デジタル教科書12校分を申し込んだのが11校しかもらえなかった、富良野小の6年生分がもらえなくてここに載ってきているらしいのですが、なぜ12校が11校になったのか、確認のためにもう一度お聞きいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

教育委員会教育部長亀淵雅彦君。

○教育委員会教育部長（亀淵雅彦君） 本間議員の御質問にお答えいたします。

22ページ、23ページ、9款2項2目教育振興費の100番、教材整備事業費の関係でございます。

これにつきましては、議員からもありましたように、いま、国でデジタル化が進んでいる中で、デジタル教科書の実証を行うための事業に今回取り組むところでございます。当初、国からは、あくまでも学校数の2分の1程度の採択になるだろうというお話でありましたけれども、本市におきましては全校分ということで申し込ませていただきました。その結果といたしまして、富良野小学校分が外れたということでございます。

恐らく、2分の1という考え方からいきますと、児童数で割っていきますと富良野小が一番多い学校になりますので、そこを外してほかの部分を選択したのかなというふうには思っておりますけれども、決定したのは北海道でございますので、その辺の詳細につきましてはわかりません。結果として、このような状況になったところでございます。

以上です。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

5番大栗民江君。

○5番（大栗民江君） 20ページ、21ページ、7款1項3目の320番、新型コロナウイルス対策観光振興事業費についてお伺いいたします。

事前の説明では、秋のふらの割ということでお伺いしております。この部分に関しましては、観光客と思いがちですが、観光だけではなくて、例えばビジネスで宿泊される方とか連泊される方も含まれているのかなのか、周知の工夫とあわせてお伺いいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長（川上勝義君） 大栗議員の御質問にお答えいたします。

20ページ、21ページ、7款1項3目の320番、新型コロナウイルス対策観光振興事業費の宿泊誘客推進事業補助金の関係でありますけれども、これにつきましては、9月、10月、秋のふらの割ということで展開させていただきたいというふうに思っております。このお客様については、観光客だけではなくて、ビジネス客も対象というふうになると思いますけれども、そこにつきましては、観光協会が取りまとめております傘下の宿泊施設の判断になろうかというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

8番水間健太君。

○8番（水間健太君） ただいま大栗議員が質問した同じ項目です。20ページ、21ページ、7款1項3目の320番、新型コロナウイルス対策観光振興事業費の中で、秋のふらの割ということ。これまでのふらの割から、新たな取り組みとして、アンケート回答者に対してクーポンの配付を行うという説明をいただいておりますので、このクーポンについて、数点質問させていただきます。

まず、アンケート回収率を上げることが非常に重要になってくるのかなと思いますが、このアンケート方法について、これまでどおりなのか、それとも、新たな取り組みをするのが1点です。

それと、クーポンを配付するに当たっては、市内経済の活性化という観点からも、できるだけチェックイン時に配付できるような取り組みをしていくことで市内経済の活性化、利用率の向上につながると思いますが、そのあたりの見解についてお答えください。

また、クーポン券1,000円分が使用できる店舗、こちらの範囲について説明をお願いします。

さらに、事業者がこのクーポンを換金する際の手数料についてはどのようになっているか、回答をお願いいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長（川上勝義君） 水間議員の御質問にお答えいたします。

20ページ、21ページ、7款1項3目観光費の320番の関係でございます。

まず、1点目のアンケートの関係であります。今回も顧客データの収集をやっていきたくて思っております。基本的にはウェブの関係でやらせていただきたいというふうに思っておりますが、スマホをなかなかうまく活用できない方もいらっしゃると思いますので、紙ベースで情報を収集することも考えております。

2点目のチェックイン時の登録ということでもありますけれども、お客様にはチェックアウトまでに登録をしていただくようなスタイルを考えておりますが、チェックアウトまでですので、途中で登録をしてクーポンを配付することも可能にしたいと思っております。宿泊施設からは、チェックイン時に登録すると、なかなか時間がかかり、混雑にもつながるとということで、例えば、チェックインした後に部屋でゆっくり登録をしてクーポンを受け取る、そのようなこともできるようなスタイルで考えていきたくて思っております。

3点目の店舗の関係でありますけれども、今回のクーポンが利用できる店舗につきましても、いま実施しています地元店舗応援クーポン券が使える地元資本の店舗を

中心に考えております。

4点目の換金手数料につきましては、現在も取っていませんけれども、取らない方向となっております。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。
7番石上孝雄君。

○7番（石上孝雄君） 同じく、20ページ、21ページ、7款1項3目の131番、「北の国から」放映40周年事業実行委員会補助金ですけれども、この事業については、けさの新聞にも少し載ってまして、既に始まっているのかなと思います。

それで、この500万円に対するこれからの事業内容をお聞かせ願いたいのと、たしか、30周年までは民間でやっていたのではなからうかなと思うのですけれども、今回、市長が実行委員長になったその経過をお知らせください。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長（川上勝義君） 石上議員の御質問にお答えいたします。

20ページ、21ページ、7款1項3目の131番、「北の国から」放映40周年事業実行委員会補助金の関係でございます。

まず、今回、市の補助金として500万円を御提案させていただいておりますけれども、実行委員会が5月7日に立ち上がりまして、議員がいまおっしゃったとおり、きのうからミニ資料館がスタートしている状況であります。

今年度の事業につきましては、「北の国から」40周年記念の共通ロゴマークの作成事業、あるいは、10月には、多分、これがメインになろうかと思っておりますけれども、40周年を振り返るような同窓会的なイベント、そして、ミニ資料館の開設、「北の国から」のスタンプラリー、40周年を記念した商品の作成、「北の国から」ドラマガイドの育成、メディアへの発信ですとか、そういうものが中心になってこようかと思っております。

続いて、今回の実施体制ということでもありますけれども、10年前の30周年のときにも市長が実行委員長をやらせていただいておりますので、民間の方々を中心に実行委員会を組織してきたところでもあります。今回、観光協会、倉本財団のほうからの申し入れもあり、市長にぜひ実行委員長をお願いしたいとの要請がありましたので、市長のほうで快く受けていただいたという経過でございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ほかに質疑ございませんか。
1番宮田均君。

○1番(宮田均君) 22ページ、23ページ、9款教育費1項教育総務費5目の100番、教職員住宅維持管理費で教職員住宅解体工事費99万円が上がっております。これは、山部中学校の教員住宅ということです。もう40年以上がたっており、煙突が倒れたともお聞きしております。

こういうところについて、いままでは放っていたのかわからないですけれども、解体する前に市の財産に落として移住者等に販売するようなことも考えていなかったのかどうか、お聞きいたします。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

教育委員会教育部長亀淵雅彦君。

○教育委員会教育部長(亀淵雅彦君) 宮田議員の御質問にお答えいたします。

22ページ、23ページ、9款1項5目の100番、教職員住宅維持管理費の解体工事費の関係でございます。

これにつきましては、議員からありましたように、ことし3月の雪により煙突が倒れましたが、既に40年がたち、もう5年以上も空き家だった状況から、修繕するよりも解体したほうがいいという判断をさせていただいたところであります。

教員住宅につきましては、いま現在、教育委員会で管理しているものが98戸ございまして、入居につきましては57戸が入っております。いま、先生の数も児童生徒数の減少に伴いまして減ってきている状況もあります。また、先生によりましては、教員住宅よりも民間のアパート等々を借りたいという方もいらっしゃいます。

そこで、空き住宅につきましては、地域振興ということも含めまして、山部におきましては所管がえをして振興会にお貸ししたり、そういうことも考えています。今後、いろいろな要望があれば、未利用財産の検討委員会等々の中でもどのように対応していくか考えていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長(黒岩岳雄君) 続いて、質問ございますか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) なければ、以上で歳出を終わります。

次に、歳入を行います。

10ページから13ページまでを行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第2

議案第2号 令和3年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)

○議長(黒岩岳雄君) 日程第2、議案第2号、令和3年度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

1番宮田均君。

○1番(宮田均君) 全体的な中で、300万円が補正になっております。この補正額についてお聞きいたします。

この内容は、コロナ禍で地域のサロンを開催できていないので、高齢者の介護予防の面で心配があるということから、弁当の試作というか、ことし1月に山部地区でやったことがモデルになって、今回、300万円の予算で、弁当代700円分のうち、自己負担額200円で申し込まれた方へ配達し、介護予防をフォローするというようにお聞きしております。

サロンは、令和元年度では17カ所で開催され、5,716名が参加されております。質問したいのは、サロンが開催されていない地域、あるいは個人への対応についてです。弁当が届く17カ所の方はいいのですが、届かない方もいます。また、開催しているところと開催していないところがあります。300万円で手の行き届かないところをどういうふうにフォローしていくのか、お聞きいたします。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長(柿本敦史君) 宮田議員の御質問にお答えいたします。

8ページ、9ページ、3款2項1目の100番、一般介護予防事業費の地域介護予防活動支援事業交付金についてでございます。

サロンに加入されていないとか、今回は御希望されていない方、または、サロンが開催されていない地域に対してのフォローという御質問かと思えます。

まず、今回、開催している地域で参加していない人についても、お弁当の意向調査をすることで、一回はお宅にお伺いして、直接、顔を合わせて交流を図らせていただいています。また、今回の取り組みで新規に参加いただくことも各開催場所では可能としておりますので、これをいいチャンスとしてこの事業に取り組んでいただ

ればということと、17カ所以上に、新たなサロン開設のきっかけづくりということもいまは期待しているところでもあります。

また、いままでは、サロンスタッフが高齢者のお宅へ訪問したり、特に気になる方へは生活支援コーディネーターも同伴して訪問し、必要に応じて介護予防サークルへの参加を促すなどということも行っておりますし、ほかの地域でも、地区の民生委員やケアマネジャー、地域包括支援センターの職員による訪問や電話などによる状況確認なども行っていますので、引き続き行ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。
（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。
討論を省略いたします。
お諮りいたします。
本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第3

議案第3号 令和3年度富良野市水道事業会計補正予算（第1号）

○議長（黒岩岳雄君） 日程第3、議案第3号、令和3年度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑は、本件全体について行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。
討論を省略いたします。
お諮りいたします。
本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第4号 富良野市個人情報保護条例等の一部改正について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第4、議案第4号、富良野市個人情報保護条例等の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第5号 富良野市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第5、議案第5号、富良野市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第6

議案第6号 富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第6、議案第6号、富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。
質疑ございませんか。

2番渋谷正文君。

○2番（渋谷正文君） 議案第6号につきましては、事前に資料等の説明をいただいているところでありますけ

れども、御質問いたします。

富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正についてであります。一部に、平成19年に公布されている内容が今回含まれているというふうに思っております。

実は、平成24年第4回定例会におきまして、富良野市条例の一斉点検に伴う関係条例の整理についてという議題がありまして、その中の条例の一つとして、今回上程されております富良野市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について、一斉点検を行って見直しを行ったということで提案され、承認したという経過にあります。

何が言いたいかと申しますと、そのときに漏れがあったのではないかということです。実は、平成27年、28年のときにもどうも改正漏れがあったように捉えておりますので、こうしたことがなぜ起きてしまうのかということと、これをまず御説明していただき、そして、見直し等を含めて、再発防止に向けた行政の事務手続についてしっかりとやっていただくというところを御説明いただきたいと思います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） 渋谷議員の御質問にお答えいたします。

富良野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正についてでございますが、議員から御指摘いただきましたように、平成24年第4回定例会におきまして一斉点検に関する条例がございました。この条例については、そのときにも条例改正の部分で上がっていたわけですが、今回の条例改正につきまして、当時の部分と比べますと3カ所ほどあるというふうに私どもは認識しております。

その中では、例えば、船員とか、障害の等級を障害等級に変えているといった文言整理だと思いますが、その段階で3カ所ほど残っていた部分につきましては、いずれも条例の運用上、支障ないというふうに判断をさせていただいて、その部分については改正しなかったと思っております。

今回、改めて全般的に確認させていただいた段階で、均衡を失しないように合わせることでとされている地方公務員災害補償法と言葉の部分が違うということがあり、そのままにしますと、今後、混乱が起こるだろうということもありまして、あわせて整理をさせていただきたいというふうに思っております。

また、先ほどありました平成27年、28年の法令改正時における調整率の部分につきましては、おっしゃいますように、いままでこのような例がなかったということもありますけれども、漏れていたといいますか、条例改正

がおくってしまったのは事実でございます。

いままでは、法令の例規集を扱っていただいている私どもの委託業者のほうから、法改正があった段階でいろいろと情報提供がございますので、各担当課のほうで改正の部分の直しておりますが、今後につきましては、その段階で条例全般を見直しながらチェックをしていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

2番渋谷正文君。

○2番（渋谷正文君） 確認をさせていただきたいと思えます。

平成19年公布の部分については、特段支障がないというか、大きな問題が起きないということで条例改正は行わなかったという趣旨で説明されたというふうに私は捉えました。しかし、例えば、周りの議会を確認しますと、近くの中核都市の議会では、平成18年にその内容について議会の中でしっかりと条例改正されております。

いまのお話からすると、自分としては、そこそこの議会においていわゆる理事者側の考え方、判断が違うのかと捉えてしまうのですけれども、そうした違いが起きてしまうということにちょっと疑問を感じるので、もう少し説明をしていただきたいと思いますというふうに思えます。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） 渋谷議員の再質問にお答えします。

条例でございますので、当時であれば、準則みたいな形で来ているかとも思います。特に、私どものこの条例につきましては、いわゆる準則では出ていない学校医やなんかも含めていろいろとあるものですから、その面では、富良野市オリジナルといえますが、富良野市に合わせてさせていただいているというふうに思っております。

先ほど申しましたように、平成19年の関係の文言整理等々につきましては、端的に申し上げますと、障害の等級という言葉が障害等級に直すとか、船員が入っているという部分がございますので、その段階では条例改正までには至らないでこのまま対応できると判断したものだというふうに思っております。

今後につきましては、その辺の準則等も含めて、全体的に見ながら、改正のあるときには例規全体をチェックして決定してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件

の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第7

議案第7号 富良野市税条例の一部改正について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第7、議案第7号、富良野市税条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第8

議案第8号 富良野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第8、議案第8号、富良野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第9

議案第9号 富良野市公共下水道事業の設置に関する条例の一部改正について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第9、議案第9号、富良野市公共下水道事業の設置に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第10

議案第10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第10、議案第10号、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第11

議案第13号 令和3年度富良野市一般会計補正予算(第5号)

○議長(黒岩岳雄君) 日程第11、議案第13号、令和3年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長(石井隆君) ー登壇ー

議案第13号、令和3年度富良野市一般会計補正予算について御説明申し上げます。

このたび提案いたしました富良野市一般会計補正予算第5号は、歳入歳出それぞれ270万円を追加し、歳入歳出

予算の総額を177億9,502万2,000円にしようとするものでございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

6ページ、7ページの下段でございます。

3款民生費は、1項社会福祉費で、長期的な新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に要する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金270万円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

同じく、6ページ、7ページの上段でございます。

16款国庫支出金は、2項国庫補助金で、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金270万円の追加でございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

12番佐藤秀靖君。

○12番（佐藤秀靖君） 6ページ、7ページ、3款1項8目生活困窮者自立支援事業費の110番、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について伺います。

これは、さきの国会で補正予算が組まれた緊急小口資金等の特例貸し付けの追加、拡大支援の内容だと思っております。

ここに計上された270万円について、対象者がある程度把握できている上での積算なのかどうか、伺います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長（柿本敦史君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

6ページ、7ページ、3款1項8目の110番、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金でございます。

この270万円の対象者の関係でございますが、現在、この要綱でいきますと、緊急小口資金並びに総合支援資金で再貸し付けされている方が第1段階の対象者になります。再貸し付け世帯でございますが、現在申請中の2件を含め、市内で9世帯9件の案件がございます。今回、支給額といたしましては、単身世帯で6万円、2人世帯で8万円、3人以上の世帯で10万円、これを3カ月間給付するということになっていきますので、マックスのところでは9世帯掛ける10万円掛ける3カ月で、270万円を計上したところでございます。

ただし、収入、資産、求職活動等の要件がございますので、この9件全てが条件を満たすかどうかというのは、いまのところ未定でございます。

以上でございます。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

12番佐藤秀靖君。

○12番（佐藤秀靖君） これは、あくまでも申請ベースということで理解していいんだと思うのですが、いま、部長がおっしゃっていただいたように、給付条件がある程度決まっているということもあって、相談に来ないとなかなか理解しにくいのかなというふうに思っているのです。ですので、申請ベースではあるものの、こちらからこういう追加の審査がありますよというような案内を出す予定はありますか。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長（柿本敦史君） 佐藤議員の再質問にお答えいたします。

この件は、先ほど対象者が9世帯と申し上げましたが、その前段で各資金の窓口を社会福祉協議会のほうでやっていたという実績がございます。今回の支援金に関しましては、市の福祉課のほう、いわゆる福祉事務所の関係で行いますが、社会福祉協議会と連携をとりながら、どの方かというのはいま把握されていますので、御案内のほうはしていこうというふうに考えております。

○議長（黒岩岳雄君） 続いて、質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第12

議案第14号 株式会社富良野振興公社の株主総会における議決権の行使について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第12、議案第14号、株式会社富良野振興公社の株主総会における議決権の行使についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長（石井隆君） -登壇-

議案第14号、株式会社富良野振興公社の株主総会における議決権の行使について御説明申し上げます。

本件は、株式会社富良野振興公社の取締役会において提案、決定された、コロナ禍などの事情により関係者が

参集のもとで取締役会が開催できない場合を考慮した書面での会議を可能とするための定款変更の決議について、株主総会の審議案件として提出されたもので、株式会社富良野振興公社の定款変更は、富良野市議会の議決に付すべき事件を定める条例第2条に規定する議会の議決案件でありますので、株主として、株主総会において定款変更の案件について議決権を行使するため、議会の議決を求めるものでございます。

以下、その内容について御説明申し上げます。

株式会社富良野振興公社定款第23条の変更は、会社法第370条の規定に基づき、取締役会の決議の省略について定款に定めようとするものでございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

ここで、10分間休憩いたします。

午前11時04分 休憩

午前11時10分 開議

○議長（黒岩岳雄君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

日程追加の議決

○議長（黒岩岳雄君） 先ほど、文書をもって、提出者水間健太君外6名より、議会改革特別委員会の設置について動議の提出がありました。

所定の賛成者もおり、動議は成立しております。

この際、本件の動議を日程に追加し、議題とすることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、この際、本動議を日程に追加し、議題とすることに決しました。

追加日程第1

動議 議会改革特別委員会の設置について

○議長（黒岩岳雄君） 追加日程第1、議会改革特別委員会の設置についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

8番水間健太君。

○8番（水間健太君） -登壇-

ただいまお取り上げいただきました動議につきまして、各議員、各会派の御賛同をいただき提出したものであり、代表して私より説明申し上げます。

少子高齢化や人口減少に伴い、市民ニーズの多様化が進む中、市議会は、二元代表制の一翼を担う存在として、執行機関に対する監視機能の強化と政策形成機能の充実、議決責任と説明責任が一層求められており、積極的に議会改革の取り組みを進めていく必要があることから、令和元年第2回定例会において、議会改革特別委員会を動議により設置し、2年間の継続調査として、この間、議論を積み重ねてきたところです。

しかし、新型コロナウイルス感染の拡大により、新たな取り組みに向けた議論ができなかったこと、さらに、令和2年第3回定例会以降、議員定数の調査、検討と議論を進めてきましたが、本定例会第1日目の議会改革特別委員会報告で報告のとおり、定数減と現状維持の双方を併記した結論に至ったところです。

このことから、議員改選を令和5年4月に控え、議員定数の結論を得るため、報告された六つのポイントを論点に引き続き調査、検討を行う必要があることから、本特別委員会の設置を提案するものです。

なお、委員会名を議会改革特別委員会とし、委員数は7名をもって設置し、議員任期中の継続調査とされたく、あわせて提案申し上げるものであります。

以上、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） ただいまの提案に対し、御発言ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、お諮りいたします。

本件については、7名の委員をもって構成する議会改革特別委員会を設置し、任期中の継続調査をするものでございます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件については、7名の委員をもって構成する議会改革特別委員会を設置し、任期中の継続調査とすることに決しました。

議会改革特別委員会の委員につきましては、委員会条

例第7条第4項の規定により、本職より御指名申し上げます。

大 西 三奈子 君
石 上 孝 雄 君
水 間 健 太 君
佐 藤 秀 靖 君
宇 治 則 幸 君
日 里 雅 至 君
後 藤 英知夫 君

以上7名の諸君であります。

お諮りいたします。（「休憩」と呼ぶ者あり）
暫時休憩いたします。

午前11時16分 休憩
午前11時17分 開議

○議長（黒岩岳雄君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。
改めて、御指名申し上げます。

本 間 敏 行 君
石 上 孝 雄 君
水 間 健 太 君
佐 藤 秀 靖 君
宇 治 則 幸 君
日 里 雅 至 君
後 藤 英知夫 君

以上7名の諸君であります。

お諮りいたします。

ただいま御指名いたしました7名の諸君を議会改革特別委員会委員に選任することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

なお、本特別委員会が調査のため派遣の必要が生じた際には、議長においてこれを処理いたしたいと思っておりますので、御了承願います。

ここで、委員会開催のため、10分間休憩いたします。

午前11時18分 休憩
午前11時27分 開議

○議長（黒岩岳雄君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

正副委員長互選結果報告

○議長（黒岩岳雄君） 休憩中に開かれました議会改革特別委員会より、委員長、副委員長の互選の結果について報告がありましたので、事務局長より報告をいたさせていただきます。

事務局長井口聡君。

○事務局長（井口聡君） 御報告いたします。

議会改革特別委員会、委員長水間健太君、副委員長石上孝雄君。

以上のとおり互選された旨、御報告がございました。

以上でございます。

日程第13

意見案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

○議長（黒岩岳雄君） 日程第13、意見案第1号、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

4番松下寿美枝君。

○4番（松下寿美枝君） -登壇-

意見案第1号、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書は、石上孝雄議員外5名の賛同をいただき、地方自治法第112条及び富良野市議会会議規則第13条の規定により、提出するものであります。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書。

北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要があります。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用、所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものであり、さらに、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向け、全国一の森林資源を有する北海道が森林吸収源対策を積極的に推進する責務を担うことが必要であります。

北海道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化が実現できるよう、施策の充実、強化を図ることが重要です。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望いたします。

記。

1、森林の多面的機能を持続的に発揮し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な再造林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。

2、森林資源の循環利用を通じて、林業・木材産業の成長産業化を実現するため、ICT等の活用による林業イノベーションの推進、生産・流通体制の強化、都市の木造化などによる道産木材の販路拡大、森林づくりを担う人材の育成などに必要な支援を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

議員各位の御賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

日程第14

意見案第2号 地方財政の充実・強化を求める 意見書

○議長（黒岩岳雄君） 日程第14、意見案第2号、地方財政の充実・強化を求める意見書を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

14番宇治則幸君。

○14番（宇治則幸君） -登壇-

意見案第2号、地方財政の充実・強化を求める意見書は、佐藤秀靖議員外6名の賛同をいただき、地方自治法第112条及び富良野市議会会議規則第13条の規定により、提出するものであります。

地方財政の充実・強化を求める意見書。

新型コロナウイルスにより、いま、地方自治体には新たに多くの行政需要が発生しています。ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、新しい生活様式への変化を余儀なくされた市民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められています。それと同時に、医療、介護など社会保障への対応、子育て支援

策の充実、地域交通の維持、確保など、少子高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要もこれまで以上に高まりつつある中、近年多発している大規模災害、また、デジタル・ガバメント化への対応も迫られています。

こうした地方の財源対応について、政府は、いわゆる骨太方針2018に基づき、2021年度の地方財政計画までは2018年度の地方財政の計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保してきました。しかし、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われる中、2022年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されています。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に以下の事項の実現を求める。

記。

1、社会保障、防災、環境、地域、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保を図ること。

2、新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種体制の構築や感染症対応業務も含めたより全体的な体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また、地域経済の活性化まで踏まえた確実な財源措置を図ること。

3、子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障関連経費の拡充を図ること。また、人材を確保するための自治体の取り組みを支える財政措置を講じること。

4、まち・ひと・しごと創生事業費として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源を確保すること。

5、会計年度任用職員制度について、法の趣旨に基づいて当該職員の処遇改善が求められていることから、引き続き所要額の調査を行うなどして、さらなる財政需要を確実に満たすこと。また、処遇改善額が明確となるよう配慮すること。

6、地方交付税の財源保障機能、財政調整機能の強化を図り、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対応を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

議員各位の御賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

す。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

日程第15

意見案第3号 2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

○議長(黒岩岳雄君) 日程第15号、意見案第3号、2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

13番今利一君。

○13番(今利一君) -登壇-

意見案第3号、2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書は、石上孝雄議員外3名の賛同をいただき、地方自治法第112条及び富良野市議会会議規則第13条の規定により、提出するものであります。

2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書。

北海道最低賃金の引き上げは、ワーキングプア解消のためのセーフティネットの一つとして最も重要なものであります。

道内で働く者の暮らしは依然として厳しく、特に、年収200万円以下のいわゆるワーキングプアと呼ばれる労働者は、道内でも48.9万人と給与所得者の29.6%に達しております。また、道内の全労働者216万人のうち、23.5万人を超える方が最低賃金に張りついている実態にあります。最低賃金が上がらなければ、その近傍で働く多くの方の生活はより一層厳しいものとなり、新型コロナウイルス感染症が収束した際の個人消費にも影響を与え、北海道経済の停滞を招くことにつながりかねないわけであり。

よって、北海道労働局及び北海道地方最低賃金審議会においては、2021年度北海道最低賃金の改正に当たって、以下の措置を講ずるよう強く要望するものであります。

記。

1、より早期に全国加重平均が1,000円になることを目指すことが堅持された経済財政運営と改革の基本方針を十分に尊重すること。

2、厚生労働省のキャリアアップ助成金など各種助成金を有効活用した最低賃金の引き上げを図ると同時に、中小企業に対する支援の充実と安定した経営を可能とする実効ある対策を図るよう、国に対し要請すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

議員各位の賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長(黒岩岳雄君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

日程第16 閉会中の所管事務調査について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第16、閉会中の所管事務調査についてを議題といたします。

本件について、各委員長よりの申し出を職員に朗読いたさせます。

庶務課長大津諭君。

○庶務課長(大津諭君) -登壇-

総務文教委員会、市民福祉委員会、経済建設委員会の各委員長からの所管事務調査の申し出を朗読いたします。事務調査申出書。

本委員会は、閉会中、下記の件について継続調査を要するものと決定したので、申し出ます。

総務文教委員会、調査番号、調査第1号、調査件名、生涯学習センターについて。

市民福祉委員会、調査番号、調査第2号、調査件名、民生委員児童委員の活動の現状と課題について。

経済建設委員会、調査番号、調査第3号、調査件名、観光における富良野の魅力発信について。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) お諮りいたします。

ただいま朗読報告のとおり、閉会中の所管事務調査について決定したいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、申し出のとおり、閉会中の所管事務調査を許可することに決しました。

閉 会 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） 以上で、本日の日程を終わり、本定例会の案件は、全て終了いたしました。

これをもって、令和3年第2回富良野市議会定例会を閉会いたします。

午前11時47分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 3年 6月 23日

議 長 黒 岩 岳 雄

署名議員 大 西 三 奈 子

署名議員 宇 治 則 幸